

## 結局、日本は米国を真似ればいいじゃないですか？

「二ホンノミナサン、コンニチワ！」  
私と長い付き合いになる米国人のア  
ドレスは183で始まるので、日頃  
から彼のことをミスター・イヤミと  
呼ぶ。そのイヤミ氏から連絡があり、  
こんなことを言ってきた。「日本人  
は優秀なのだから米国にいらっしや  
い」。この日本を心配してくれたの  
であろうか。

彼は常日ごろから日本人の頭の良  
さを知っている。たとえば、2の平  
方根を成人のほとんどが念仏を唱え  
るかのようにと「一夜一夜に人見頃」  
と言えることを。ウォールストリー  
トで同じ質問を答えられる米国人は  
限りなくゼロだろう。こんな会話か  
らイヤミ氏は私に絡んできた。

「そんな知識、いつ使う？ 我々米  
国人は確かに日本人よりも学力は劣  
っているかもしれないけれど、勝者  
の方程式は日本人、いや世界中の誰  
よりも解くことができる」

——勝者の方程式だって？

「米国は成果を見せることができる  
んだよ。君だって見ただろ。仙台空  
港に我々の空挺部隊がパラシュート  
を使って飛び降り、数日で空港を再  
開させたオペレーション・トモダチ  
こそ世界中が望んでいることさ。確

かにあそこまでしなく  
てもいいけど、映像的  
なインパクトは良かつ  
ただろう。あれを見て  
「やっぱり米国はすご  
い！」と多くの日本人  
はそう思った、そう、  
だから作戦は大成功  
さ」

——よく分からないな  
。

「米国は今、現在も戦  
時中なんだよ、日本の  
震災の復興に協力して  
いる間にウサマ・ビン  
ラディンのこめかみに  
銃弾をぶち込みなが  
ら、イラク、アフガニ  
スタン、そしてリビアや北朝鮮、世  
界中にニラミを利かせなければなら  
ない。そんなことできる国、世界中  
探したって米国以外ない」

——余計分らないな。

「結局、世界の平和は米国の存在な  
しでは実現不可能ってことかな」

——全然分らないよ。

「米国でトラブルがあった時に使う  
言葉がある。それは「Send a  
Marine」、つまり海兵隊を送れって  
ことなんだ。世界が米国に望むこと  
は圧倒的な警察力や軍事力だ。同時  
独裁的な社会ではない、すべてのこ

## 畏友・イヤミ教授の白熱教室

Vol.38



宮井能雅

1958年3月、北海道長沼町生まれ。現在、同地で水田110haに麦50ha、大豆60haを作付けする。大学を1カ月で中退後、農業を継ぐ。子供時代から米国の農業に憧れ、後年、オーストラリアや米国での農業体験を通して、その思いをさらに強めていく。機械施設のほとんどは、米国のジョンディア代理店から直接購入。また、遺伝子組み換え大豆の栽培を自ら明かしたことで、反対派の批判の対象になっている。年商約1億円。

Illustration by Kazushige Akita

とを多数決の原理で決める  
ことができる嘘のない民主  
主義の社会でなおかつ多民  
族でも成長し続けることが  
できる米国は、日本人だけ  
ではなく、世界の羨望的  
な存在」

——だけど世界から嫌われ  
ているのも事実だよな？

「負け組の遠ほえってヤツ  
だね。少なくとも日本には  
選択の自由があるはずだ。  
ニューヨーク・タイムスや  
朝日新聞のように批判上手

# オレにも 言わせる!

## 北海道長沼発 ヒール宮井の憎まれ口通信

になっても何の成果を得られないのは、農業の生産者が何にも作らないで『消費者の味方ですよ』と言うのと同じことさ。それに米国を嫌うことは君が属している文化を否定することに「なる」

——なんだいそれは？

「米国は世界中の人たちが集まってできた国なんだ。日本にコートジボアール人の街ってある？ ジャマリアは？ ジャマイカは？ でも君も知っているハワイ、LA、サンフランシスコ、シアトルには日本人や日系人が多く住んでいるよね。米国人を侮辱すると言うことは日本文化そのものを否定することにもなるし、世界を敵に回すことにもなる。君は金髪・ブルーアイが大好きな様だが、残念ながら、あと10年もしたら白人なんて人口の半分程度になる」

——確かにそうだけ。

「日本の未来は米国の現在なのさ。米国で流行していることは間違いない。日本でも流行する、セレブ、ライフラインなんて言葉もすべて米国で使われてから日本で使われていることも知っているのだ。反対に米国でうまくいかなかったことを日本で成功させるにはものすごいエネルギーや時間を無駄にすることになる。

日本は米国の良くないところ、麻薬、銃社会を真似しなければ素晴ら

しい社会になると思うよ。そんなに意固地にならなくてもいいだろ、米国は代償を払って進まなければならぬけれど、日本はより少ない代償で勉強できるんだから幸せな国さ」

——それって褒めている？

「最近の農業関係者のブログを読むと面白いね。今まであんなに米国のことを軽口叩いていた人たちが、ピタッと米国批判を止めたね。臨機応変型、環境性対応型の人間なのか？ やはり米国軍のオペレーション・トモダチの効果はやはりあったようだね。でも、あと数カ月したらまた以前と同じことを言い出すだろうけどね」

——確かに米国を批判するハンカクサイ人は北海道で半分くらいいる。

でも緯度を南に下がっていくほど米国批判が多いんだよね。東京のマトモそうな人たちと話していても平気で米国なんかって言うんだ。

「東京は日本の首都だから、米国批判が許されるかもしれないけれど、それは世界を見ていないことの証明にもなるのかな……なんてことは間違っても言えないからね。それとそんな米国批判上手な日本人に限って、英語はできてイングリッシュできないのは、アジア圏から脱出ができないもどかしさをごまかしているように見えるけどね？ あと、金髪・

ブルーアイに食ってかかる日本人って見たことないね？ そして米国に勝てないことが分かっているから、日本人同士で米国の悪口言う姿を見ると、日本人って面白いよ」

——米国人に食ってかかる日本人は

いない？ それは間違いだ！ 六本木のおねーちゃんはG I ジョーといつも暴れているぞ。日本にも日本の国益を守るってアンクルサム（合衆国政府）に正々堂々と正面攻撃をかけた政治家がいたようだけど。結局、国益どころか自分の命も守れなかったようだけ。

「日本人は時間感覚が我々と違うよ

うだね。たとえば『サマータイム』をなぜ日本は導入できないのかな？

昼間の有効利用の話ではなく、朝4時に明るく、緯度が高い北海道には最適な制度だと考えるけど。やはり日本人は怠け者なのか？ 朝7時の東京駅には誰もいないけれど、米国の主要な都市だったら7時にはみんな動き出している。それに休日が多すぎると思わないか？ 休みが多くて給料が上がらないのは当たり前。そんなに日本人は物を生産しなくてもやっていけるホワイトカラーにあげられる理由は、一体何なんだ？」

——たぶんうぬぼれがあるのかもしれない、白人国には及ばないがアジアの中では一番だと思っっているんだ

から平和だよ。サマータイムは多くの高い緯度の国では常識だけど、降雪がない低緯度の南の都市では理解できないのだと思う。そんなこと理解できない米国の勝ち組の論理を日本人に語っても無駄かもね。

「組換え作物導入も遅れているね。

米国の生産者は都市よりも決して豊かな生活をしているわけではない。日本も同じだね。米国の組換え作物を作っている生産者は20年前と比べて栽培管理は楽になっているが、その代わり以前よりも多くの農産物を、国内はもとより国家戦略的に輸出産業に協力する責務を負っていることを忘れてはいけない。でも日本は違うようだね。まだまだ国に余裕があるのかな？

米国にも組換え作物に賛成派もいれば反対派もいる。しかし現実には組換え作物は栽培されている理由は生産者、流通、加工、販売者にとって利益が出るからだ。日本では違うのだろうか？ やはりそれを食べていながら、作らせない雰囲気肯定する考え方は間違っている。自分たちが成熟しない社会を作っておきながら、社会の利益を考えることができず、社会の利益を考えることができるのは残念だ。ところでどう？ このイヤミのアドレス気に入ったかい？ 君のアドレス・ミヤイ（381）には負けるけどね」